



お花いっぱい！木いっぱい！
お散歩楽しいな～



3月19日、いこいの広場で行われた「越辺川
川のまるごと再生プロジェクトお披露目会」

= 特集 =

新緑の季節に歩こう

おっぺがわ

越辺川遊歩道

川で水遊びをする子ども、川岸でバーベキューを楽しむ若者、土手沿いでウオーキングや犬の散歩をする大人。越生町の中央を流れる清流「越辺川」は、いろんな世代に親しまれてきました。

さらに越辺川に親しむことができるよう、平成25年から埼玉県と越生町・毛呂山町で「川のまるごと再生プロジェクト」を進めてきました。このプロジェクトにより、梅園橋から今川橋（毛呂山町・鳩山町の境の橋）までの遊歩道や公衆トイレなどを整備しました。今年3月には整備が終了し、同月19日に完成お披露目式が行われました。

新緑の季節、川のせせらぎを聞き、心地よい風を感じながら、遊歩道を散歩してみませんか。今月号では、完成ホヤホヤの「越辺川遊歩道」を紹介します。



越辺川を守る 住民のチカラ

越辺川遊歩道は、単に行政主導でできたものではありません。周辺に住むみなさんの理解と協力なしには完成しませんでした。今回、遊歩道の保全活動をしている「おっぺ川を守る会」代表の村山光昭さん（仲町）にお話を聞きました。

「おっぺ川を守る会」は、越辺川の景観を整備、保全するため、平成22年に発足した川の再生検討委員会と、越辺川周辺の6つの自治会を中心が発足したのが始まりです。25年5月には、行政が進める「川のまるごと再生プロジェクト」と協働し、今年3月には上野東から越生梅林までの越辺川遊歩道が完成しました。

遊歩道に地域の個性を

遊歩道は自治会が中心となって、それぞれの区間を責任を持ち整備・保全・管理しています。定期的に草刈りやごみ拾いをするほか、沿道や花壇に花木を植えるなど、地域の個性が現れています。

仲町区では、年に数回80人ほどの住民を集め、人海戦術で一気に歩道と河原の草刈りをしています。また、遊歩道

沿いには、サクラやヤマブキなどを植栽し、手入れをしています。

愛される遊歩道に

こうした住民みなさんの協力のおかげで、地区ごとの独自の景観を作り出し、歩いて楽しい遊歩道になりました。朝・夕方には、散歩やジョギングをする人が増えました。週末になると家族連れで遊ぶ姿も見かけるようになりました。また、町外から来た方に、「近くにこんなきれいなところがあってうれしい」と言っていたきました。

大事なことは継続すること

遊歩道は完成しましたが、今後もこの景観を維持するためには、引き続き住民のみなさんの協力が必要です。この活動を次世代へと継続し、さ

らに魅力ある遊歩道にしていけたらと思います。

利用する方もごみや犬のフンなどのマナーを守ること、景観を維持することに繋がります。ご協力ください。

遊歩道を歩いてみては

舗装され段差が少ない遊歩道は、お年寄りや小さなお子さんとの散歩などに適しています。サクラやヤマブキ、スミレ、レンギョウなど、季節の花が咲くので、四季を楽しむこともできます。ぜひみなさん、越辺川の遊歩道をご利用ください。



5月はヤマブキが見頃です